

開物成務

発行責任者
 逗子開成学園校友会
 〒249-8510
 逗子市新宿2-5-1
 逗子開成学園内
 TEL.046(871)2062
<http://z-kaisei.org/>
 E-mail:info@z-kaisei.org

題字・逗子開成学園
 元理事長 徳間康快氏

「開物成務」の由来
 人間性を開拓・啓発し、
 人としての務めをなす

逗子開成グループ飛躍の年に!!



逗子開成学園校友会
 会長 後藤 寿一
 (高19回)

明けましておめでとう
 ございます。校友の皆様
 におかれましては希望と
 期待を持って、新しい年
 を迎えられたことと思
 います。

校友会も昨年同様コ
 ロナ禍の影響で対面での幹
 事会、本部及び各地区会
 の総会などが全て中止に
 なりました。コロナ感染
 者は大幅に減少しており

ますが、まだ予断を許す
 状況ではありません。
 このような環境下では
 ありますが、今年には会員
 名簿の整備と校友ネット
 ワークの更なる充実を
 図っていきます。幸い、若
 手会員の活動によって、
 ビジネス交流の足掛かり
 も徐々に構築されつつあ
 ります。

共同体的ように顔見知
 りの人々が、同じ地域の
 中で密接にかかわりあっ
 ている地区会の利点と職
 場や生活領域が異なる
 人々が集約される本部機
 能を融合することによつ
 て、双方の利点や役割をど
 のように生かしていくか
 が今後の課題となります。

今後の受験生に期待
 し、そして、先生方のご
 努力に感謝申し上げます。良
 い結果が得られますこと
 を願っております。

今年もコロナウイルス
 の影響で10月22日(金)と
 23日(土)の午前中と変
 則的な日程で開催され
 ました。



校友会にはグッズ販売
 を要望され、海洋センタ
 ーでの販売を行いました。
 初日は生憎の降雨と平
 日ということもあり、来
 場者はかなり少ないよう
 でしたが、二日目は晴天
 に恵まれたことと、土曜
 日ということもあり、ご

校友会のグッズ販売の
 結果は、短時間の販売でし
 たが予想以上の結果だっ
 たことを報告いたします。

第71回
開成祭

Who's
 10/22(金) 8:45~12:30
 10/23(土) 8:45~13:00
 (12:00~フリースタイル)

父兄の来場者がかなり増
 えました。
 逗子海岸では多くのご
 父兄が見守る中、対抗
 ヨットレースの熱戦が繰
 り広げられました。

新年ご挨拶



逗子開成学園
 理事長 志村 政俊
 (高17回)

明けましておめでとう
 ございます。
 校友の皆様には、お健や
 かに新年をお迎えのこと
 とお慶び申し上げます。

日頃は、学園並びに生
 徒に対し多大なご支援、
 ご協力を賜り、誠にあり
 がとうございます。
 一昨年来の新型コロナウイルス
 ウイルス感染症の拡大は、
 ワクチン接種が進んだ効
 果もあり、昨春秋以降は落
 ち着いてはいるものの、欧
 米各国を見ると再拡大へ
 の懸念は払拭出来ず、依
 然として気の抜けない状
 況が続いています。

そうした中、学園生徒
 徒ともコロナの影響を
 大きく受けていますが、
 昨年の夏前から例年実
 施している学校行事を
 徐々に再開し、授業やク
 ラブ活動も10月の緊急
 事態宣言解除後は、よう
 やく通常に戻りつつあ
 ります。本年は、コロナ
 禍が収束に向かい、生徒
 たちが何の憂いもなく
 平穏な学校生活を送る

ことが出来るよう切に
 願っています。
 さて、本校は来年創立
 120周年を迎えます。
 大きな節目となります
 ので、今後急ピッチで準
 備を進めてまいります。
 また、その後を見据え
 て、新校舎建設など長期
 的なプロジェクトも始
 動させなければならま
 せん。校友の皆様にも
 何かとご協力をお願い

することになります。が、
 どうかお力添えをいた
 だきますようお願い致
 します。
 今年の干支、壬寅(みず
 のえ)とは、「陽気を孕
 んで、春の胎動を助ける」と
 言われています。「厳しい
 冬を越えて芽吹き始め、
 新しい成長の礎となる」
 年との解説もあります。
 大きな目標に向かって
 一歩を踏み出すには、

最適な年と言えましょ
 う。コロナという厳しい
 難局を乗り越え、これま
 で蓄えていたエネルギー
 を推進力として力
 強く前進する年とし
 た
 年頭にあたり、本年が
 皆様にとりまして穏や
 かで幸多き年となりま
 すよう祈念し、ご挨拶と
 いたします。

地球儀から見る世界

開物成務 スピリット体現記①



仲居宏二(高17回)

母校の校友会報に拙稿を載せていただけたこと、なんと名誉なことか、ありがたく思っています。

卒業して既に50年以上、お世話になった母校在校生も読まれるとのことなので、あえて現役の後輩たちに向けて書かせていただきます。

大学へ進学、卒業後は就職、なんとなくこれからはマスコミの役割が大きくなるだろうということでNHKに入局(番組制作)し、ほぼ40年間勤めました。大きな志もなく、もしかしたら広い世界を見られるかも、遠くを見る、がテレビの語源、世界を見たい、知りたいと専ら、海外取材の企画を立てられると思っていました。企画次第で会社のお金で海外にも行く、大学に入るまでは多分半径10キロ圏内が僕の「世界」でした。簡単に言

えば、お上りさん根性です。その負い目を仕事でリベンジしたいと思っていたのです。

一枚の企画書で自分の給料の何十倍も予算が使える、それを番組としてテレビで多くの人に訴えられる、これは大きな魅力でした。もともと旅行は大好き、でも学割を使つての国内旅行だけではこれからの時代には不十分ではと思っていました。それを可能にできる就職先はまだそう多くはなかった時代です。

所詮は卒業したばかりの若造、当時は海外取材に行けるのは局内でも名を挙げたディレクターや報道現場(ニュース)の人に限られていました。幸運にも初めて実現したのは就職後7年経つてからです。当時はまだ珍しい海外取材、羽田空港には部長さんはじめ職場の人たちが数十人も見送りに来てくれました。

こうしたきつかけで味を占めて、現役時代はできるだけ旅行ではいけないところに行きたい、ニュースと違った一定のメッセージを番組で伝え、それを視聴者に見てもらえるといったやりがいを感じていました。その後プロデューサーになり、管理職となり、会社の役員などを経る中で、メディア業界も大きく変わってきました。日本からの発信、異文化接触、さらにはビジネスとしてコンテンツの海外展開などに携わりました。さらにはメディアの国際貢献、



ボツワナ共和国 オカパンゴデルタにて

途上国支援なども経験することになり、特に途上国(アフリカ諸国、中東、東南アジアなど)に自分の役割を見出し、今でもそうした仕事に関わっています。NHKを退職後、縁あって聖心女子大学で教授として次世代を指導する機会も得ました。振り返れば、開物成務の精神を、知らず知らずのうちに仕事を通して体現していたように思います。

後輩たちには、より一層地球規模で世界を見て、もろもろの課題に取り組んで欲しいと願っています。また機会がありましたらさらに具体的な取り組みなどもお話しせていただきたいと思っています。

とにかく地球儀を前にして、世界を舞台に、開物成務の「主役」になつて下さい。(早稲田大学第一文学部哲学科 卒業)

ギャラリーでヨーロッパ世界遺産の旅気分を四月に銀座で写真展(個展)開催

桐ヶ谷英明(高21回)

横須賀会の桐ヶ谷英明さんは、逗子開成高校を卒業後、法政大学に進学。卒業後は東京都庁に勤務し、定年退職後は、趣味の写真を活かし、写真家に転身。南の海や島を中心に撮影し、個展を2回開催。コロナ前の3年間は、撮影対象を広げ、20回のヨーロッパ撮影旅行を敢行。今回はその中から、「世界遺産・光彩のヨーロッパ」をテーマとして個展

を開催予定。会期は4月15日(金)から21日(木)。会場は東京都中央区銀座一丁目「富士フォトギャラリー」。内容は「ヨーロッパ全域から、年間を通して、自然や旧市街、遺跡、教会、宮殿、文化的景観等の対象をバランスよく選定。25カ国、48の世界遺産を大全紙で展示。時間等の詳細は富士フォトギャラリー



リー銀座のホームページをご覧ください。
<http://www.prolab-area.tej.jp/>



特選入賞作品
タイトル「O△□World」

横須賀の芸術家「開物成務65号の印刷ミスについてお詫び」開物成務65号でご紹介した横須賀の芸術家のお名前を間違えるという大きなミスが発生させ、心よりお詫び申し上げます。

高20回の石渡正史さんを石橋正史さんと間違つて印刷してしまいました。ご本人はじめ多くの方々にお詫びを申し上げます。また、石渡先生の近況として第74回横須賀市民文化祭洋画部門で「O△□World」が特選に入賞しました。(広報委員会)



最新作品タイトル「Under the Sky」

震災と原子力事故後 10年経過した 福島県の現状について

加賀谷環(高29回)

3年前に41年間勤務した東京電力を福島の地で定年を迎えました。在籍時に起きた原子力事故は大きな衝撃を受け、少しでも復興の役に立ちたいとの思いから原子力事故直後から福島での勤務を続け、定年退職後も福島に留まって除染で発生した土壌を管理する会社に再就職をしました。

現状の福島県の環境回復の状況をお知らせいたします。東京電力福島第一原子力発電所の事故により、放射性物質が環境中に放出されましたが、除染作業や自然減衰により、大幅に低減し国内外の主要都市とほぼ同水準になっていきます。一方、県面積の2.4%は帰還困難区域に指定されたままになっています。

その結果1400万㎡(東京ドーム11杯分に相当)の除染による土壌が発生しました。その土壌は、ダンプトラックにより東京電力福島第一原子力発電所の周囲に整備が進められている中間貯蔵施設へ搬送が行われています。今年3月までには概ね輸送が完了する見通しになりました。原子力事故直後では、想像も出来なかつたことです。



この土壌は、専用の施設で土壌と可燃物等に分離して掛けられ、再生資材化した土壌は福島県外で最終処分されるまで、福島の地に留まることとなります。この土壌の75%は、8000Bq/kgです。作業員の年間の被ばく線量は、1mSv以下であり健康に影響が出ない値であることが、確認されています。この大量にある除染で発生した土壌を公共事業等で利用するための実証実験が行われ、

安全性が確認されています。この土壌をいかに減らすことが出来るか大きな課題です。事故前の東京電力福島第一原子力発電所で発電された電気は首都圏に送られていました。多くの方に福島の現状に思いを寄せていただき、現状を説明している施設、中間貯蔵工事情報センターへお越しいただきたいと思えます。中間貯蔵工事情報センターの所在地は福島県双葉郡大熊町小入野です。
●ホームページ
https://www.jesconet.co.jp/interim_infocenter/inquiry.html

52会(高29回) 第6回 八方尾根慰霊登山報告

緊急事態宣言解除となった令和3年10月9日(土)52会として近年取組んでいる八方尾根への慰霊登山を実施しました。(例年、恩師である上野先生と坂田先生にご先導いただいておりますが感染防止のため今年度は人数を絞り大須賀裕司、加賀谷環、葉袋純の3名にて実施)

当日は曇天でしたが第二ケルンから見上げる八方ケルン(開成ケルン)の威容にはいつも心が揺さぶられます。八方ケルンの周囲は登山者が必ず一息入れる場所であり今や大切な「道しるべ(兼、休息ポイント)」となっております。多くの登山者のなか八方ケルンで合掌、その後八方池を目指し登山、あいにく白馬三山は雲の中で拝めず。帰路では遭難者の方々のご冥福を念じながら下山。その後、白馬山岳遭難対策センター慰霊碑、長谷寺(現地法要寺院)、ガラガラ沢(遭難者発見場所)下流を訪れ一連の行程を終えました。

学校でも毎年1月、「ポート遭難の日」に八方尾根遭難も合わせ慰霊と悲しい事故を二度と起こさない事を全校で誓っていると聞いております。また、母校は海に近く自然環境に接する大きな利点もありますが津波を中心とする災害対策も重要です。この10月も防災訓練を実施し常に不測の事態への備えを行っているのとこのことは本当に大切なことであると思えます。

コロナ禍でのオンライン懇親会

52会(高29回)では、昨年のコロナ禍においても、同期のつながりを切らさないようにオンラインでの親睦会を定期的の実施してきました。

最初の頃は戸惑いや操作の不慣れでギクシャクすることもありました。話がスムーズになり、共有する時間を楽しめるようになりました。

コロナ禍による緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が解除になってもオンラインでの親睦会はつながりを継続させる有効なツールだと思います。

2023年に母校は創立120年を迎えます。

52会ではそれに向けて今年から、恩師を招待した同窓会の開催を企画・実行していく予定です。

浮かれることなく感染防止対策を十分に実施したうえで開催を目指していきます。乞うご期待。

大須賀 裕司 (高29回)



葉袋純二(高29回) しました。52会では、この悲しい出来事を風化させることがないように、また教訓として忘れることがないよう可能な限り慰霊登山を続けていきたいと考えております。

校友から衆議院議員2名誕生

昨年10月に行われた第49回衆議院議員総選挙にて2名の校友が、それぞれの選挙区で有権者の信託を得て当選されました。当選されたお二人に寄稿いただきましたのでご紹介するとともに、今後の国政での活躍を見守り、応援していきたいと思っております。



しのはら 豪(高45回)
衆議院議員
(神奈川県第1区選出 立憲民主党)

第49回総選挙、3期・8年目挑戦の闘いに、逗子開成の卒業生として小選挙区当選を目指し、県庁所在地である神奈川県第1区で勝利させていた



土田 慎(高61回)
衆議院議員
(東京都第13区選出 自由民主党)

志を胸に明るく、先般の衆議院総選挙にて、自民党初の平成生まれの議員として初当選させて頂きました。私は志を持って、日々努力をす



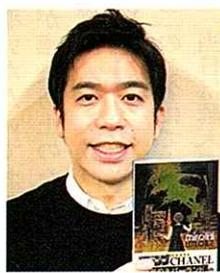
きましたので、ご報告させていただきます。この結果は、これまでご指導いただいたきました高橋純校長、星一郎先生をはじめとする先生方、そして校友会・PTAの皆さまのご支援の賜物であり、改めて頂戴しました。ご支援の重みを大切に、一層引き締めて仕事をし、まいります。

今次総選挙は前回とは異なり、本気で政権をとろうと挑んだ選挙でもあ

る事を矜持としております。私の志は「誇りに思える日本を次世代にバトンタッチすることです。その志を抱いたきっかけは高校時代にアメリカに留学させてもらった事でし

『週刊少年ジャンプ』と CHANEL(シヤネル)との マンガコラボを実現

こんにちは。高53回生の永井康之と申します。この度、ご縁をいただき筆を取らせていただきました。同期の皆さんお元気ですか？



振り返ると、中学高校あつという間の6年間で、中学入学したての頃、伸び悩んでいた私に親身に粘り強くご指導くださった担任の小林先生には今も深く感謝しています。当時グラウンドはまだ土で、プールも温水ではなく、初夏は寒かったですね。高校時代は、95

因は中高と剣道部で指導された「誰にでも大きな声で挨拶することだ」と思っております。私は世襲でも金持ちでもないの

に、担当するクライアント企業からのビジネス窓口となり、日々働いています。



さて今回、フランスのラグジュアリーブランドCHANEL(シヤネル)から、アート支援という観点で、日本のマンガとの取り組みを相談され、週刊少年ジャンプ編集部と一緒に、2年がかりでオリジナルマンガを制作、2021年4月にコミックスを発売しました。

定期採用HPに掲載されており、ご興味があればご覧になつて下さい。

笑。毎日ワクワクしていた。そんな時代でした。大学を卒業後、出版社である株式会社集英社に入社し、広告部という雑誌広告をセールの営業部門に配属になり16年目を迎えます。

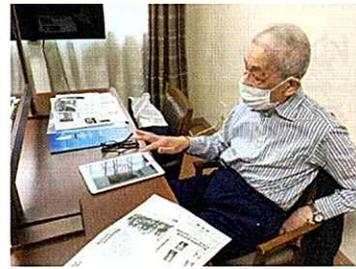
「約束のネバーランド」の先生方です。こちらの作品は、2021年春に東京のシヤネル銀座、秋に京都にてマンガ展として巡回しました。また、マンガのキャラクターを使用した、シヤネルとして世界的LINEスタンプにもなりました。コミックスは現在も全国の書店、web書店で購入可能です。是非ご覧になってください。また、本プロジェクトの詳細は、集英社2023年度

最後に、同窓の方々に「開物成務」を通じて知ることができ、心強い事です。皆さまの益々のご活躍をお祈り申し上げます。

永井康之(高53回)



100歳を迎え 戦後、平和を祈り続けて



浸かり長話をして、いざ風呂から出て制服を着たら返子開成では同期でも上等兵だったためこつこつ殴られたことや、終戦の年は特攻隊員となるも生き延び自責の念に悩まされ続けたことなど話が尽きませんでした。

現在は戦争のない平和な国として続くようにメディアを通して思いを伝えていきます。

また、在学当時の写真をはじめ思い出の写真はデータ化されてタブレットPCに保存されていて、自由に操られる姿は100歳を迎えられる方とは思えませんでした。

(広報委員会)

日蓮宗のご住職で東返子の本勝寺、千葉県の本土寺貫主、京都府の日蓮宗大本山妙顕寺貫首を務められました。

今でも在学当時のことを鮮明に覚えておられ、同期の皆さんや先生方のあだ名のことなどユーモアも交えた話は楽しいものでした。

戦時中は陸軍航空技術学校に入校。着任先で風呂に入ったら返子開成の同期を見つけ浴槽に



人生100年時代…皆様の備えは万全ですか? ご相談は全て無料!! 秘密厳守です。

こんにちは。高39回、横須賀会の中井和久です。人生100年時代と言われ久しいですが、次のような備えは万全でしょうか?

- エンディングノートや遺言書はどう書くの?
● 老人ホームってどんなところ? 介護保険とは?
● 相続に向けて、家族のために何をしたら良いの?
● 認知症になる前に今やることは? 成年後見や家族信託って?
● 保険を使っっての介護や認知症支援サービスって? 将来に備えられる?
● 難しい手続きをすべてひとりで準備できる…?

実は、こういった相談を一括で受け、解決や助言をしてくれる所はありません。そこで平成27年に横須賀に一般社団法人あんしんライフよすかを設立し『高齢者生活支援事業』を展開。各分野の専門家とチームを組み相談に乗っています。

2年前からは「京急久里浜駅」徒歩2分の商店街の中に事務所も構え、日々活動しております。

お困りの事、悩んでいることはありませんか? 解決の糸口が見つかるかも…まずは相談してみませんか?

●一般社団法人あんしんライフよすか
〒239-0831 横須賀市久里浜4-15-2 TEL.0120-777-686
ホームページ: https://a-l-yokosuka.com/
メールアドレス: info@a-l-yokosuka.com



在校生への助成 及び支援実績

会員の皆様からいただいた校友会費は在校生への助成や支援に役立っています。

昨年はコロナウイルスの影響が続いている状況でしたが、感染防止対策をしっかりとした中でスポーツや文化部の大会が開催されました。母校在校生も多数の生徒が大会に参加しました。実力を発揮して関東大会や全国大会に出場したクラブに対し助成

をおくやみ

ご遺族や各地区会などから寄せられた計報です。謹んでお知らせします。

- 石井 久夫さん (35期)
鈴木 健二さん (高3回)
佐々木 茂さん (高3回)
田上 泰利さん (高4回)
村瀬 賢正さん (高5回)
鈴木 堅一さん (高5回)
齋藤 浦太郎さん (高8回)
一色 洋さん (高9回)
中村 哲二さん (高10回)
細井 昌弘さん (高12回)
浅羽 克洋さん (高13回)
五十嵐 力さん (高17回)
江藤 篤さん (高25回)

を行いました。また、留学生支援制度も復活し、約1年間の長期留学生7名に対し支援を行いました。

長期留学生支援実績

カナダ留学 2021年8月~2022年6月 6名
アメリカ留学 2021年8月~2022年6月 1名
7名x30,000円 合計210,000円

2021年度 クラブ助成実績 (9月30日現在)

Table with 4 columns: クラブ名, 大会名, 開催日時, 助成金額(円). Lists 8 clubs and their respective support amounts.

キーワードは「信頼」です



小島法律事務所

取扱 民事・家事
弁護士 小島 衛
(高17回卒業)
早稲田大学法学部卒業
元横浜弁護士会副会長
横浜市中央区住吉町 2-21-1
フレックスタワー横浜内 402
TEL:045(671)9141
校友会横浜会の連絡事務所も兼ねております
http://www.law-kojima.com

校友 ゆう・ゆう クロスナビ

校友は、あらゆる分野で活躍しています。「校友のやっている店、いる店を知りたい」「校友がやっている、いる病院を知りたい」「こんな時はどうすればいいのかな?」…お店選び、日々の暮らしなどで迷った時に活用してください。ただし、割引や特典はここに紹介している以外は、校友だからと過度な要求はご遠慮ください。また、校友会ホームページ(<http://z-kaisei.org/>)には他業種の校友も掲載していますので、アクセスしてください。

弁護士法人オリオン法律事務所 (笹浪 靖史/高49回)

オリオン法律事務所は東京池袋・神奈川横浜周辺地域の市民と企業から借金、離婚、相続、交通事故、消費者被害、債権回収、インターネットの問題、会社法務などについて法律相談を行っている。



法人の代表を務める笹浪さんは大学を卒業後ITの仕事をしていましたが、一念発起して30歳を過ぎて弁護士になった。回り道をした分だけ一般の会社勤めの方や生活者の気持ちもわかるとのことで、日々依頼者の弁護に努めている。

横浜と池袋に事務所があり、校友からの相談も歓迎とのこと。悩みをお持ちの方はぜひ校友の弁護士に相談を。(校友割引あり)

お問い合わせメールアドレス: inf@itlawyer.jp

●池袋事務所

〒170-0013 東京都豊島区東池袋1-47-1
庚申ビルディング601
TEL.03-5957-3650 <https://itlawyer.jp>
池袋駅東口徒歩5分

●横浜事務所

〒220-0004 横浜市西区北幸2-10-39
日総第5ビル9階
TEL.045-900-2817 <https://yk.itlawyer.jp>
横浜駅西口徒歩8分

浦上総合法律事務所 (浦上 俊一/高53回)

東京都中央区で法律事務所を経営しています(東京弁護士会所属)。



企業や個人に巻き起こる訴訟・紛争の処理をジャンルレスに取り扱っています。企業法務については、M&Aを含む取引・契約法務、コーポレート(会社法)業務を中心に、上場企業、中小企業、ベンチャー企業等に向けた企業法務を提供しています。

個人法務については、相続・離婚や交通事故、不動産・金銭トラブルといった身近で生じうる法律問題や、企業オーナーの事業承継、個人財産管理等について法務面からサポートしています。

お役に立てることがございましたら、お気軽にご連絡ください。

お問い合わせメールアドレス: urakami@ura-law.jp

〒104-0041 東京都中央区新富1-15-3 新富ミハマビル2階
TEL.03-6262-8317 <https://www.ura-law.jp/>
「八丁堀駅」A3出口(東京メトロ日比谷線)、「新富町駅」5番出口(東京メトロ有楽町線)
「京橋駅」2番出口(東京メトロ銀座線)

藤澤税理士事務所 (藤澤 公貴/高47回)

父から事務所を平成16年に引き継ぎ代表をしています。

業歴があるので父の頃からの付き合いの長いお客様とは、相続税の試算や贈与だったり事業承継をお手伝いしたりしています。また新規のお客様は起業や会社設立したりするお客様の支援をしています。その他、事業を引き継いだ二代目の方からのお問い合わせもあり、同じ境遇だったりするお客様にはより親近感を感じます。



ウェブ会議での相談にも対応しておりますので、なかなかお会いして打ち合わせが難しい状況ですが滞りなく進めています。

主に活動エリアは、横浜を中心にご来所いただいておりますが、南は三浦市、西は茅ヶ崎市、北は川崎市多摩区までお客様はいらっしゃいます。

校友の方で税務相談がございましたら、当事務所HPのお問合せフォームまたはメールいただくと幸いです。

お問い合わせメールアドレス: fujisawa@fuji-tax.jp

〒220-0011 横浜市西区高島2-10-13 横浜東口ビル608
TEL.045-453-5551 <https://fuji-tax.jp/>
横浜駅東口徒歩5分(中央郵便局と崎陽軒の間の道を高島町方面に向かい万里橋を渡ってすぐです。)

松坡文庫研究会講演会 「七里ヶ浜ボート遭難事故と田辺新之助」

本校元校長、袴田潤一先生が主宰する松坡文庫研究会は、2017年に設立され、鎌倉市中央図書館の「松坡文庫」(田辺新之助旧蔵書)及び田辺新

之助先生その人についての調査を行っています。10月3日(日)、鎌倉婦人子供会館ホールで開催された今回の講演会で、講師の袴田先生が、東

京開成中学校からの分離独立直後に起こった七里ヶ浜ボート遭難事故を軸に、当時の逗子開成中学校の状況や田辺先生の事故対応等について、客観的な資料をもとにご講演されました。講演には定員いっぱい参加者があり予定時間の参加者がありません。

を超える有意義な内容でした。
学園理事・評議員を新たに選任
令和3年12月4日に開催された理事会、評議員会において、校友関係では、次の両氏が新たに選任された。(敬称略)

- 理事・評議員 後藤寿一(高19回)
 - 評議員 網倉大介(高37回)
- なお、校友関係の守屋大光氏(高13回)は、理事・評議員を退任された。

園で行っているボート遭難記念碑清掃と2月の寿福寺への田邊新之助初代校長の墓参は、コロナウイルスの状況を鑑み、昨年と同様に鎌倉会の幹事のみで行います。この行事に長年ご協力いただいている皆様にはご理解をお願いします。



この状況が改善し、また皆様と一緒できることを祈念いたします。